

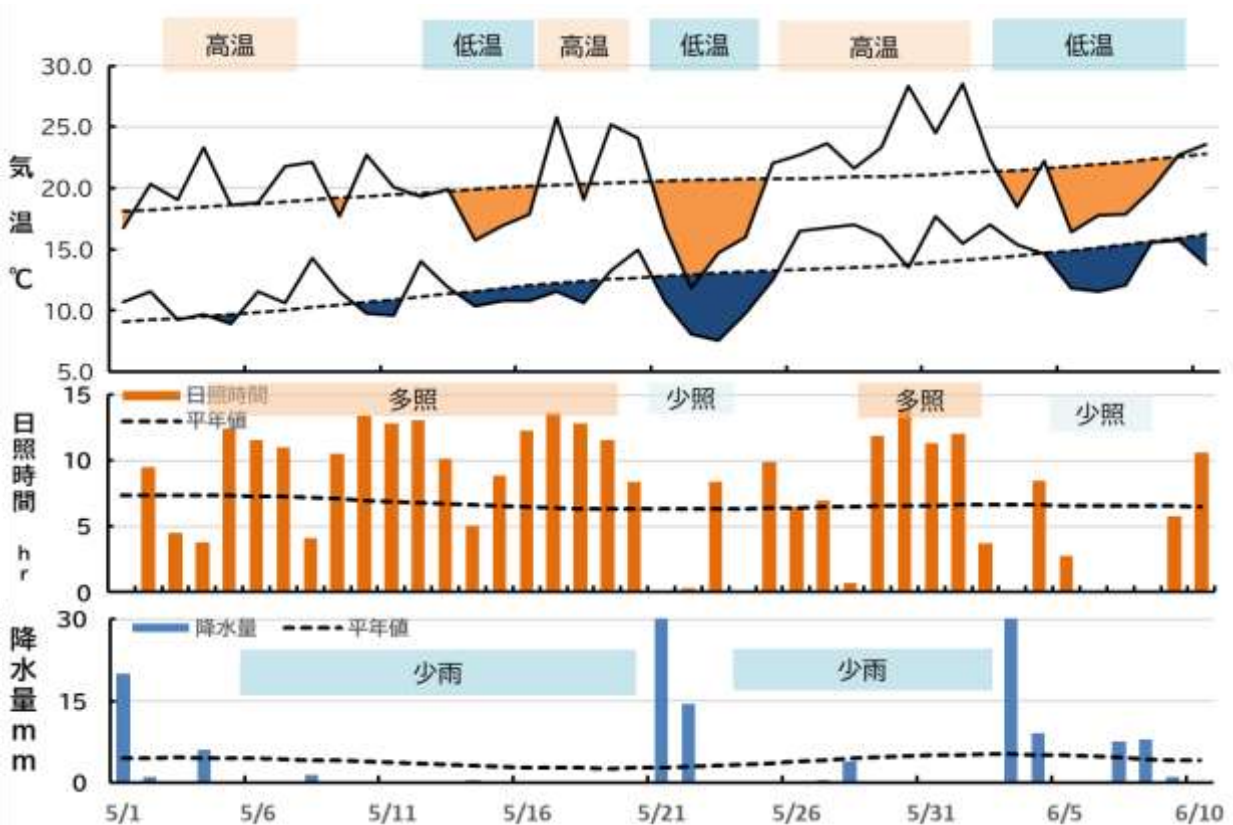
稲作情報 (Vol.3)

令和8年6月15日
石巻地方米づくり推進本部
宮城県石巻農業改良普及センター

TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/>

6月上旬の気象経過

6月1日には最高気温が28.5℃を記録しましたが、その後は低温傾向に転じ、6月上旬の平均気温は平年より0.9℃低く、日照時間は平年比66%で少照、降水量は平年比152%と多雨でした。



水稻の生育状況

移植栽培 草丈は平年並、莖数・葉数が多め

- ◎ 草丈は、23.6～27.8 cmで平年比84%～105%となっています。平年よりも短いほ場もありますが、概ね平年並です。
- ◎ 莖数は、134～324本/m²で、平年比67～135%となっています。平年よりも少ないほ場もありますが、平年よりも多い傾向です。
- ◎ 葉数は、5.7～7.5枚で、平年よりも少ないほ場もありますが、概ね平年並み～やや多い傾向です。
- ◎ 葉色は、ひとめぼれで42.0～42.6、ササニシキで36.5～36.7となっており、平年より1.4～4.0ポイント上回り、平年並み～やや濃い状況となっています。

乾田直播栽培 前年・平年を上回る生育

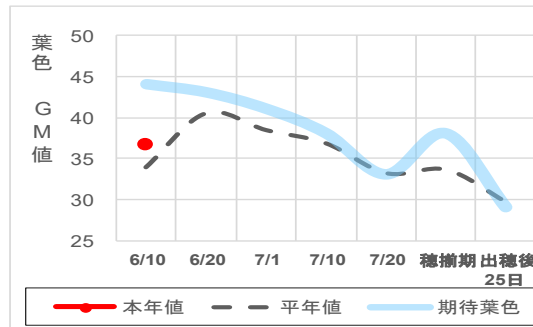
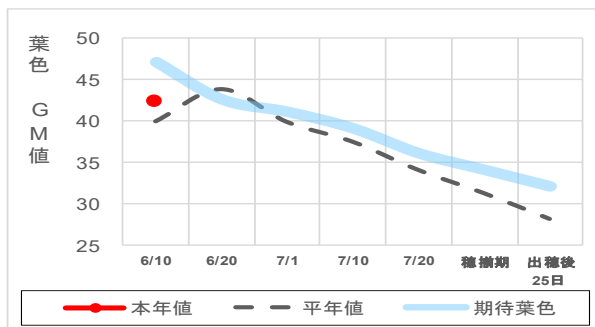
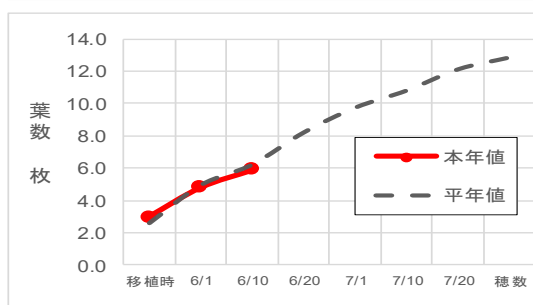
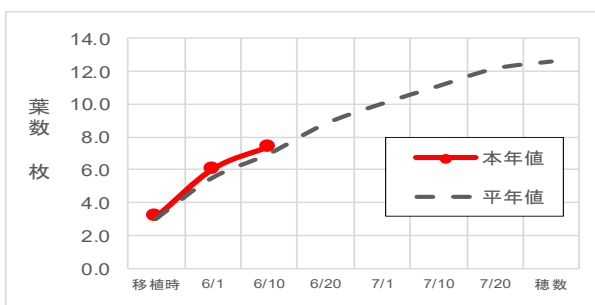
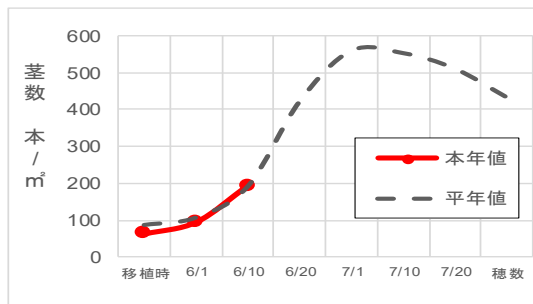
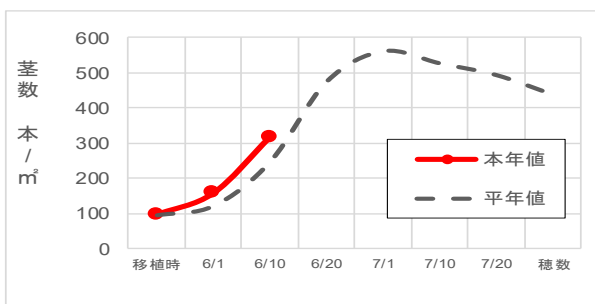
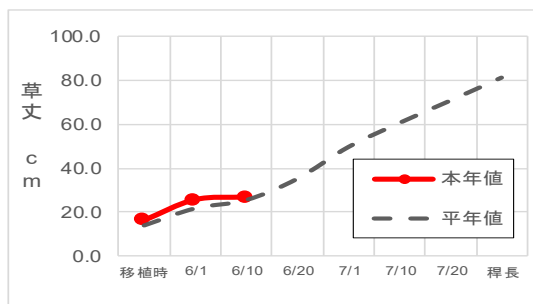
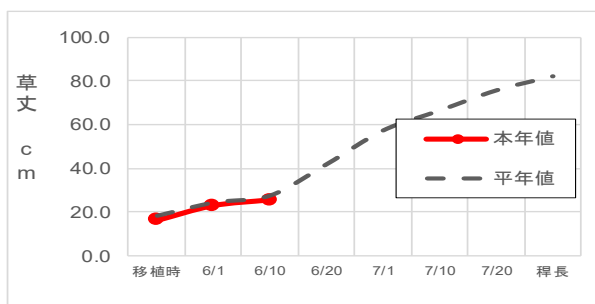
- ◎ ササニシキほ場は平年を上回る生育となっています。ひとめぼれほ場では草丈を除き、前年を上回る生育となっています

表1 生育調査ほ等の調査結果（6月10日現在）



品種名	地区名	6月10日				備考
		草丈(cm) (平年比)	茎数(本/m ²) (平年比)	葉数(枚) (平年差)	葉色(SPAD) (平年差)	
ひとめぼれ	石巻市広瀬	27.1 (100%)	309 (129%)	7.5 (+0.5)	42.6 (+1.9)	平年比・差は参考値
ひとめぼれ	東松島市矢本	23.6 (84%)	324 (127%)	7.3 (+0.4)	42.0 (+2.8)	
ササニシキ	石巻市桃生	27.8 (102%)	251 (135%)	6.1 (-0.0)	36.7 (+4.0)	
ササニシキ	石巻市稲井	25.4 (105%)	134 (67%)	5.7 (-0.6)	36.5 (+1.4)	
乾直ササニシキ	石巻市河南	28.8 (109%)	350 (126%)	6.4 (+0.5)	36.7 (+0.5)	
乾直ひとめぼれ	石巻市桃生	23.2 (94%)	184 (152%)	5.6 (+1.0)	36.6 (+1.4)	() は前年比・差

注) 平年比・差は前5か年の平均値との比較。



ひとめぼれ平均

ササニシキ平均



写真1 矢本ひとめぼれほ場



写真2 桃生乾直ひとめぼれほ場

今後の管理

～適切な水管理で生育を促進させましょう～
～目標有効茎数の確保を確認して中干しを行いましょう～

1 水管理

- ◎ 中干しまでは間断かん水が基本ですが、移植が遅い場合や直播栽培など生育量が不足しているほ場では3cm程度の浅水とし、分げつの発生を促しましょう。
- ◎ 目標有効茎数を確保したら早めに中干しを実施しましょう（目標有効茎数は表2を参考にしてください）。中干しは7～10日間程度で、土の表面に軽くひび割れが入り、歩くと軽く足跡が残る程度が目安です。なお、実施に当たっては、各土地改良区の揚水停止期間を確認し、計画的に水管理を行いましょう。
- ◎ 復元田などで倒伏が心配される場合には、分げつ期における深水管理が有効です。分げつ期に深水とすることで茎数の増加を抑制することができます。ただし、深水管理によって表層はく離が発生しやすくなるので注意しましょう。なお、表層はく離対策としては、浅水管理や日中落水管理が有効です。
- ◎ 有機物を多用している水田などで、土壌からガスの発生が見られる場合には、中耕や一時的に落水するなどして土壌中に酸素を供給し、根への障害を防ぎましょう。
- ◎ 近年は異常高温により根が傷んだと推察される生育障害が散見されています。
高温時は常時湛水を避け、間断かん水を実施しましょう。

【今後の水管理のポイント】

- 復元田など過繁茂となりやすく、倒伏が心配されるほ場では、
➡ 一般ほ場より中干し開始の時期を早める。
- 大区画ほ場や排水不良田では、
➡ 溝切りを行い、排水を促す。
- 直播栽培など揚水停止まで必要茎数を確保できないほ場では、
➡ 揚水停止直前に湛水し、必要茎数を確保してから中干しする。
(湛水直播は強めに中干し、乾田直播は基本的には中干し不要)

表2 品種別の目標有効茎数

品種	目標有効茎数（穂数）					
	移植栽培			乾田直播栽培		
	㎡当たり （本／㎡）	1株当たり （本／株）		㎡当たり （本／㎡）	条1m当たり （本／m）	
ササニシキ	480～510	50株/坪植え	32～34	510	条間30cm	153
		60株/坪植え	26～28		条間24～26cm	122～133
ひとめぼれ	410～460	50株/坪植え	27～30	460	条間30cm	138
		60株/坪植え	23～25		条間24～26cm	110～120

2 雑草対策

- ◎ ヒエの残草が確認される直播栽培ほ場が散見されます。残草がある場合には、中・後期剤を利用してください。
- ◎ 除草剤の選定の際には、雑草の種類や草丈、葉齢などを確認し、適切な剤を選定するとともに、使用の際は、容器のラベルに記載された使用時期、使用方法を守りましょう。

3 いもち病対策 ～ 移植では残苗処分、直播では予防防除を！～

- ◎ 残苗が置かれているほ場が散見されますので、直ちに処分しましょう。
- ◎ 直播栽培では、移植栽培で使用されている箱処理剤が使えないため、いもち病に感染するリスクが高くなっています。種子処理での予防防除を行っていない場合は、必ず6月中～下旬に葉いもち予防剤による防除を行いましょう。

4 斑点米カメムシ類対策

- ◎ 宮城県では、水稻うるち玄米の産年別格付け理由割合の中で、斑点米カメムシ類等による着色粒が36.4%（R7）を占めています。
- ◎ 畦畔や農道、雑草地、休耕田のイネ科やカヤツリグサ科の雑草は、今後斑点米カメムシ類の重要な繁殖源となるので、今から計画的な草刈りを行い、カメムシ類の発生を抑制しましょう。
- ◎ ほ場の中にイヌホタルイが残っている場合は、斑点米による落等の確率が高まるので（表5）、7月上旬までに追加の除草剤散布を行ってください。

表3イヌホタルイ発生量に基づく斑点米被害リスク

6月下旬の株数/㎡	2等以下に落等する確率
0～1	0～30%
1～6	30%～40%
6～16	40%～50%
16～28	50%～60%
28～42	60%～70%
42～61	70%～80%
61～90	80%～90%
90～112	90%～94%
112～	94～

東北地方1か月予報

(6月13日から7月12日までの天候見通し)

令和8年6月11日仙台管区气象台 発表※抜粋

<予想される向こう1か月の天候・気温・降水量>

平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。平均気温は、高い確率50%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】 東北太平洋側	20	30	50
【降水量】 東北地方	20	40	40
【日照時間】 東北地方	30	40	30

<気温経過の各階級の確率(%)>

	低い	平年並	高い
1週目 東北太平洋側	20	40	40
2週目 東北太平洋側	20	40	40
3~4週目 東北太平洋側	20	30	50

春の農作業安全確認運動実施中!

令和8年3月1日から令和8年6月30日まで

スローガン「徹底しよう! 農業機械の転落・転倒対策」

宮城県農薬危害防止運動実施中!(6月1日から8月31日)

宮城県では、6月から8月にかけて、農作物等の病害虫が発生しやすく、農薬を使用する機会が最も多くなる時期です。農薬安全対策の不備や不注意等による事故が発生しやすくなるため、農薬使用による危害防止と環境に配慮した適正な農薬の使用を徹底し、農薬の販売、使用方法、性質に関する正しい知識及び関係法令等の周知を図ることで、農薬による事故等の発生を防止し、本県産農産物の「食の安全・安心」を確保することを目的に運動を実施しています。

農作業中の熱中症を予防しましょう!!

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。

熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です!!

予防のポイント

暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業



こまめな休憩と水分補給

暑の兆きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



単独作業は避ける

複数人で作業を行う。時間を決めて連絡をとり合う



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用



熱中症対策アイテム

身体を冷やす

暑い時間帯の作業等が避けられないときに活用



ファン付ウェア、ネッククーラー

1人作業の備え

やむを得ず1人作業をする際、色サススを認識したいときに活用



ウェアラブル端末、通信セット

環境改善

作業場を涼しくしたり、休憩の場を高めたいときに活用



エレクトロファン